



10月17～18日、大分市・日本文理大学グラウンドにおいて、「リレーフォーライフ（RFL）大分 2009」が開催されました。大分先端画像診断センターは、社団法人大分県放射線技師会チームの一員として参加しました。

リレーフォーライフは、がんと闘っている患者を励まそうと1985年にアメリカのシアトルで始まったイベントで、現在全米では4000カ所以上、世界20カ国以上で開催されています。現在は、24時間リレー形式で歩きながらがんを負けない社会を作ること呼びかけ、日本では2006年につくば市で初めて開催され、「リレーフォーライフ 2009」は全国13か所で開催されました。

RFL 大分 2009では62チーム4,500人が参加し、たすきをつなぎ24時間歩き続け計2,565,870円の募金が集まりました。参加人数は、全国各地で開催されたRFLの中で過去最高人数でした。

同イベントでは、「がんになっても希望を持って明るく生きていける社会」を目指し、オリジナルグッズの販売、バンド演奏やゲームの開催など、楽しく参加できるプログラムから、がんで亡くなった人たちの偲び、がんと向き合っている人々の勇気を称えたキャンドル点灯なども行われました。



リレーフォーライフ大分 2009

主催：リレーフォーライフ大分実行委員会、日本対がん協会大分県支部

共催：日本文理大学

【関連サイト】

- ◆財団法人日本対がん協会 がん啓発サポートキャンペーン
リレー・フォー・ライフ・ジャパン <http://www.jcancer.jp/relay>
- ◆リレーフォーライフ大分 <http://www.ac.auone-net.jp/~rfl-oita/>